## 九州大学大学院数理学府 平成 27 年度修士課程入学試験 基礎科目問題

- 注意 問題 [1][2][3][4] の全てに解答せよ.
  - 以下  $\mathbb N$  は自然数の全体 ,  $\mathbb Z$  は整数の全体 ,  $\mathbb Q$  は有理数の全体 ,  $\mathbb R$  は実数の全体 ,  $\mathbb C$  は複素数の全体を表す .
- [1] a,b e b c d e

$$A = \begin{pmatrix} a & b & 0 \\ 0 & a & b \\ 0 & b & a \end{pmatrix}$$

を考える.以下の問に答えよ.

- (1) Aの固有値を求め,各固有値ごとに固有空間を求めよ.
- (2) A の固有値の中で絶対値が最大になるものを求めよ.
- (3) (2) で求めた固有値を  $\lambda_0$  とおき ,

$$B = \lambda_0^{-1} A$$

とおく  $B^n \ (n \in \mathbb{N})$  の  $n \to \infty$  での極限を求めよ .

$$V = \{ \mathbf{x} \in \mathbb{R}^n \mid \mathbf{x} = A\mathbf{y} \text{ を満たす } \mathbf{y} \in \mathbb{R}^n \text{ が存在する } \}$$
 $W = \{ \mathbf{x} \in \mathbb{R}^n \mid \mathbf{x} = B\mathbf{y} \text{ を満たす } \mathbf{y} \in \mathbb{R}^n \text{ が存在する } \}$ 

とする.このとき以下の問に答えよ.

- (1) AB=O と  $A^2=A$  が同値であることを示せ.ただし,O は n 次零行列を表す.
- (2) AB = O であれば  $\mathbb{R}^n = V \oplus W$  となることを示せ .
- (3)  $\mathbb{R}^n = V \oplus W$  であれば AB = O となることを示せ.
- ${\bf [3]}\quad D=\{(x\mbox{ ,}y)\in \mathbb{R}^2\mid x^2+y^2\leq 1\}$  とし ,  $n\in \mathbb{N}$  とする . このとき以下の問に答えよ .
  - (1) 定積分  $\iint_D x^{2n} dx dy$  の値を求めよ .
  - (2) 実数 a ,b が  $a^2+b^2=1$  を満たすとき,定積分  $\iint_D (ax+by)^{2n} dx dy$  の値は a ,b によらないことを示せ.
  - (3) 定積分  $\iint_D (2x-3y)^{2n} dx dy$  の値を求めよ.

$$\int_{1}^{\infty} \frac{f(x)}{x} dx$$

が収束しているとする.このとき以下の問に答えよ.

- (1)  $\lim_{arepsilon o +0} \int_{aarepsilon}^{barepsilon} rac{f(x)-f(0)}{x} dx = 0$  を示せ .
- (2)  $\lim_{R o \infty} \int_{1/R}^R rac{f(ax) f(bx)}{x} dx$  の値を求めよ .
- (3)  $\lim_{R o \infty} \int_0^R rac{\cos(ax) \cos(bx)}{x} dx$  の値を求めよ .